

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

がん患者の終末期ケアの質にコロナ禍が与えた影響の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 緩和ケア内科 木原里香

[研究の概要]

コロナ禍において病院では面会制限が行われ、自宅で療養される方が増えるなどがん終末期の療養に大きな影響を与えました。米国のがんセンターからコロナ禍では専門的緩和ケアの介入が早くなる、緩和ケア病棟で亡くなる方が増えるといった変化が認められるとの報告がありますが、まとまった報告は少なく、コロナ禍により終末期の過ごし方にどのような変化が出たのか検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院にてがんと診断され、2017年4月1日から2023年3月31日の間に亡くなり、電子カルテにて亡くなる前30日間に療養した場所が確認できる診断時15歳以上の方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、がん診断日、死亡日、がん種、抗がん治療内容、抗がん治療を受けた施設、化学療法最終実施日、亡くなる前30日間に療養した場所とその期間、亡くなった場所、亡くなる前30日間の心肺蘇生の実施や集中治療室入室の有無、緩和ケアチーム介入日、緩和ケア病棟利用の有無、在宅療養支援診療所受診の有無、など。

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 緩和ケア内科 木原里香

電話 0587-51-3333